

魅力いっぱい/
GYODA

埼玉県

行田



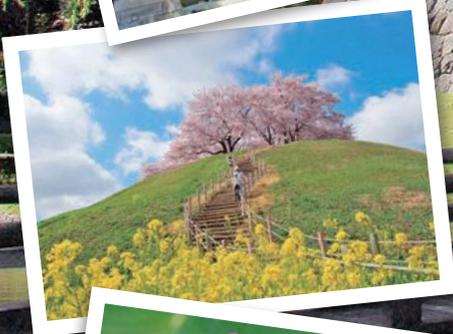
お出かけガイド



JAPAN HERITAGE
日本遺産

平成29年4月、「和装文化の足元を支え続ける足袋蔵のまち行田」として、埼玉県内初となる日本遺産の認定を受けました。

歴史も自然も盛り沢山！
行田へ出かけてみませんか？



オススメ!

歴史のまち行田 見どころスポット

忍城・埼玉古墳群・古代蓮の里
行田八幡神社・前玉神社

オススメ!

食べ歩きグルメ

フライ・ゼリーフライ

歴史のまち行田 見どころ スポット

古代のロマンと
歴史が息づくまち行田を探索!!

忍藩十万石の面影残る名城



おし じょう 忍 城

行田市郷土博物館／行田市本丸17-23 TEL.048-554-5911 【料金】一般 200円 大学・高校生 100円 中学・小学生 50円 ①61台 【開館時間】9:00～16:30(入館受付は16:00まで)【休館日】月曜日(祝日、休日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館)、毎月第4金曜日(テーマ展・企画展開催中は開館)、年末年始

関東七名城のひとつである忍城は、室町時代にあたる15世紀後半に成田氏により築城されました。戦国時代の終わりに、豊臣秀吉の関東平定に際し、石田三成らによる水攻めを受けたストーリーは、小説「のぼうの城」で描かれ、映画でも注目されました。忍城御三階櫓の内部は郷土博物館の展示室の一部となっていて、最上階からは市内が一望できます。



花蓮の名所



こ だ い は す さ と 古代蓮の里

古代蓮会館／行田市小針2375番地1 TEL.048-559-0770 【料金】大人(高校生以上)400円 小人(小・中学生)200円 ①490台 【開館時間】通常期(6月下旬～8月上旬以外)9:00～16:30(入館受付は16:00まで)、蓮の開花期(6月下旬～8月上旬)7:00～16:30(入館受付は16:00まで)【休館日】月曜日(祝日を除く)、祝祭日の翌日(土・日は開館)、年末年始 ※蓮の開花期(6月下旬～8月上旬)は無休

ここ行田で永い眠りから目を覚ました行田蓮(古代蓮)の神秘的な美しさを満喫できる公園です。園内では、6月下旬から8月上旬にかけて、42種類約12万株の花蓮が池一面に咲きます。また、7月中旬から10月中旬には、園内にある「古代蓮会館」の展望室より、水田をキャンバスとして文字や絵柄などを表現する田んぼアートを楽しむことができます。



東日本最大の古墳群



こ ぶ ん こ う え ん さきたま古墳公園

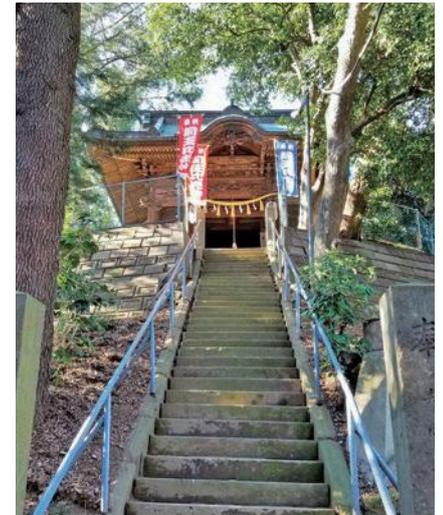
県立さきたま史跡の博物館／行田市埼玉4834 TEL.048-559-1111 【料金】一般 200円 高校生・学生 100円 小・中学生 無料 ①普通車303台、大型車33台 【開館時間】9:00～16:30(入館受付は16:00まで) ※7月1日～8月31日は9:00～17:00(入館受付は16:30まで)【休館日】月曜日(祝日、振替休日、県民の日(11月14日)、4月29日～5月5日は開館)、年末年始

埼玉県名発祥の地、行田市大字埼玉にあり、5世紀後半から7世紀はじめころまでにつくられた9基の大型古墳が群集している公園です。令和2年に国の特別史跡に指定されました。園内には、国宝「金錯銘鉄剣」などが展示されている「県立さきたま史跡の博物館」や、はにわ作り体験ができる「はにわの館」などがあります。



さきたまじんじゃ 前玉神社

行田市大字埼玉5450 TEL.048-559-0464 ①20台 【祈願受付時間】9:30～16:00 ※参拝は終日可能です



前玉神社は千数百年の歴史を持つ、荘厳で落ち着いた雰囲気のある古社であり、埼玉県名発祥の神社です。社殿は高さ8.7m、周囲92m程の浅間塚と呼ばれる古墳上に建てられています。御祭神は前玉比売神・前玉彦命の二柱で、人の身を守り、幸福をもたらす神様であり、縁結びの神様でもあります。近年は、境内に暮らしている4匹の猫をモチーフにした限定御朱印(毎月22日を含む前後数日)が人気を集めています。

四季を通して見どころ満載♪

イベント・花カレンダー

1月

2月

3月

4月

5月

6月

■初日の出
(古代蓮会館展望タワー)

■梅(2月中旬～3月下旬)
古代蓮の里

■鉄剣マラソン(古代蓮の里) ■さきたま火祭り(さきたま古墳公園)
■行田春まつり(水城公園)

■ろうばい(1月中旬～2月下旬)
古代蓮の里

■桜(3月下旬～4月上旬)

さきたま古墳公園
古代蓮の里
忍城
水城公園 ほか

■古代蓮(6月)
古代蓮の里

グルメ

お好み焼き風の「フライ」と、ジャガイモとおからのコロッケ風「ゼリーフライ」は、行田自慢の伝統の味。行田名物としてテレビや雑誌に度々登場。



油で揚げないのに...? フライ

行田でいう「フライ」とは、小麦粉を水で溶き、鉄板の上で薄く焼きながら、ねぎ、肉、卵などの具を入れ、好みでソースまたは醤油だれをつけて食べるものです。

行田市の位置する北埼玉地方は古くから小麦の産地であり、「フライ」はもともと農家で手軽に作るおやつのようなものでした。行田で昭和初期に全盛期を迎えた足袋工場で、働く女工さんに大ヒットし、販売する店が増えて定着しました。現在でも市内では30店以上の店で提供しています。

こぜにちゃんとフラベえです。



行田ゼリーフライがモチーフの「こぜにちゃん」、行田フライがモチーフの「フラベえ」。2人力を合わせてゼリーフライ、フライの全国ブランド化計画を推進中です!

甘くはないぜ! ゼリーフライ

見た目は衣のついていないコロッケのようなもので、そのルーツは、日露戦争の時、中国から伝わった「野菜まんじゅう」だということです。ジャガイモにねぎやにんじん、さらにたくさんおからが入っているのも特徴で、食物繊維が豊富でヘルシーです。ソースの味と香りがとても利いて、モチモチとした食感が大人にも子どもにも大人気です。



ぎょうだはちまんじんじゃ 行田八幡神社

行田市行田16-23 TEL.048-554-5926 普通車106台、大型車2台 [祈願受付時間] 10:00~12:00 / 13:00~16:00 ※参拝は終日可能です



行田八幡神社は、「封じの宮」と称され、子供の夜泣きやかんの虫を封じる虫封じをはじめ、癌の病、難病や悪癖の封じ、お年寄りのぼけ封じなどの封じ祈願が秘宝として継承されています。境内には「目の神社」をはじめ、湿疹・美肌の神「瘡守稻荷社」、忍城七福神「大國主神社」などが祀られています。近年は「なで桃」がパワースポットとして知られ、病難・災害避けの神としても有名です。

行田の特産品 TABI



足袋



現在も全国トップシェアをほこっています

行田周辺は足袋の原料となる木綿や青蒿の産地で、江戸時代の後半には足袋が特産品として知られていました。

明治時代になるとミシンが使われるようになり、足袋の生産量は増大しました。また銀行等が設立され資金が安定し、ミシンの動力化も進んで、名実ともに行田の足袋は日本一となりました。昭和13年の足袋生産量は8,400万足で、全国生産のおよそ8割を占めていました。

「行田足袋」は令和元年に国の伝統的工芸品に、郷土博物館所蔵の「行田の足袋製造用具及び関連資料」は令和2年に国の重要有形民俗文化財に指定されました。



●足袋とくらしの博物館

全盛期の行田の足袋工場の様子を再現した館内で、足袋づくりの実演見学などができます。

行田市行田1-2 TEL.048-552-1010
料金：200円(小学生は100円)
開館時間 10:00~16:00
開館日：土・日のみ

7月

8月

9月

10月

11月

12月

■蓮まつり(古代蓮の里)

■浮き城まつり(県道128号(旧国道125号) 歩行者天国区域)

■とうろう流し納涼大会(秩父鉄道行田市駅北側 忍川翔栄橋付近)

■菊花展(行田市郷土博物館入口付近)

■サケの遡上【10月下旬~12月中旬】(大堰自然の観察室)

■酉の市(愛宕神社)

下旬~8月上旬)



ホテイアオイ(8月中旬~10月中旬)

水城公園



■商工祭・忍城時代まつり(市役所・産業文化会館、郷土博物館周辺)





バスターミナル観光案内所、JR行田駅前観光案内所、ぶらっと♪ぎょうだの3ヶ所に観光レンタサイクルがあります。



● 自動車

東北自動車道

- ▶ 羽生インター…国道125号(旧国道125号バイパス)経由で約14km、約30分
- ▶ 加須インター…加須インターから加須市内、県道128号(旧国道125号)経由で約17km、約35分

関越自動車道

- ▶ 花園インター…国道140号経由で約22km、約40分
- ▶ 東松山インター…県道173号経由で約22km、約40分

圏央道(首都圏中央連絡自動車道)

- ▶ 桶川北本インター…国道17号経由で約20km、約40分

● 電車・バス

上越新幹線

- ▶ [熊谷駅]下車 JR高崎線乗りかえ(約4分) [行田駅]下車、又は 秩父鉄道乗りかえ(約9分) [行田市駅]下車

JR高崎線

- ▶ 北鴻巣駅…さきたま緑道(彫刻の遊歩道)から徒歩約80分
- ▶ 吹上駅…観光スポットへは朝日バス利用
- ▶ 行田駅…観光スポットへは市内循環バス利用
- ▶ 熊谷駅…秩父鉄道乗りかえ [行田市駅]下車

東武伊勢崎線

- ▶ [羽生駅]下車 秩父鉄道乗りかえ(約14分) [行田市駅]下車



行田市内の観光のことならなんでもおまかせ

★★★ 観光案内施設のご案内 ★★★

観光マップ C-2 **バスターミナル観光案内所**

市の中心にある「行田市バスターミナル」に隣接しています。施設内にはパソコンが設置されているので、1日の観光プランを立てることも可能です。休憩スペースも設けています。



行田市本丸3-5 TEL. 048-554-8820
開館時間: 9時～16時
開館日: 毎日(12月29日～1月3日は休業)

観光マップ A-5 **JR行田駅前観光案内所**

JR行田駅東口を降りてすぐのところにあります。市内循環バスの待合室も設けてあります。



行田市老里山町12-1 TEL. 048-550-1611
開館時間: 9時～16時
開館日: 毎日(12月29日～1月3日は休業)

観光マップ C-2 **ぶらっと♪ぎょうだ**

行田ならではの素材を活かした特産品や、伝統の味を守る老舗店の商品を数多く揃えているお土産センターです。その他、レンタサイクルの取り扱いや観光情報なども提供しています。



行田市忍2-1-8(行田市商工センター1階)
TEL. 048-554-1036 開館時間: 9時～17時
開館日: 毎日(12月29日～1月3日は休業)

観光マップ D-2 **観光ガイドステーション**

秩父鉄道行田市駅最寄りの観光案内施設です。観光情報の提供のみならず、特産品の紹介・あっせんも行っています。(NPO法人ぎょうだ足袋蔵ネットワーク運営)



行田市行田5-15 TEL. 048-552-1010
開館時間: 10時～16時
開館日: 毎日(12/29～1/3、8/13～8/16は休館)